

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 4 月 3 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100603		
法人名	森信建設株式会社		
事業所名	グループホームなでしこ温品		
所在地	広島市東区温品5丁目7-1 (電話) 082-280-3596		
自己評価作成日	令和5年3月3日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100603-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年3月24日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

「ゆったり、のんびり、ほがらかに」を理念に利用者様がゆっくり生活できるよう支援している。日々の体操を始め、天気がいい日にはお散歩や外気浴で季節を感じてもらったり、個々の趣味（編み物、読書など）や職員と一緒に施設の飾りの作成、動画鑑賞などその日の気分に合わせて毎日を過ごして頂いている。今年度は広島県中小企業団体中央会主催の生産性向上研修に参加しそこで学んだ手法を実践、日常業務の見直し・効率化を行い、ご利用者様のケアに充てる時間も増加した。またなでしこ温品設立当初より食材と手作りの食事にこだわってきたが、昨冬から無農薬栽培の柑橘農家よりみかん等の柑橘類を仕入れ、便秘予防として利用者様に提供している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人理念に沿って利用者がゆっくりと生活できるよう職員全員が高い意識を持って日々のケアを行っている。代表者は現場職員とコミュニケーションを図り、柔軟な施設運営ができるようバックアップを行い、管理者は生産性向上研修に参加しタブレット端末を活用した記録業務のデジタル化や改善の4原則を実現する分析による業務の見直し、効率化を図り利用者に関わる時間を増やすことで個別性の高い支援の提供に繋げている。昨冬から始まった柑橘類の摂取による便秘予防は利用者の健康改善になり、蜜柑農家から購入を行うことで農家の経営の手助けになっており新たな形での地域貢献を果たしている。又、蜜柑の皮を消臭剤に使用したり、入浴時には季節を感じる入浴材に使用したりと持続可能な開発目標(SDGs)にも似た取り組みもある。先駆的な取り組みだけでなく開設当初より行っている3食手作りの食事提供など、日々を楽しみながら過ごせるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝申し送りを行い理念を唱和し職員全員が周知し日々の業務の中で理念に添う様努めている。半年に1度面談の機会を設け、また日々の業務の中での相談時等、理念を基にした介護・介助のやり方を確認しながら共有・実践をしている。	毎朝、理念を唱和することで職員全員に周知しており理念に基づき利用者寄り添うケアを実践している。半年に一度、管理者との面談を通じた評価を行い専門職としての意識の向上や接遇面の改善を図り職員全員の資質向上につなげている。	理念の実践に向け、管理者とともに職員全員が継続的に取り組んでいる。今後、管理者面談の中で職員個人が目標設定を行い、振り返りの機会を持つことや管理者が法人代表者と面談を行うなど、法人全体として取り組める体制が作られることで更なる資質の向上が図られることを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナウイルスの影響により保育園、ボランティアとの交流など再開はしていないが月に1回の介護予防運動など一部出来ることから、再開をしている。傾聴ボランティア、保育園の慰問もコロナ禍が落ち着き次第再開をお願いしている。	散歩や外気浴の際に地域住民との挨拶や声掛けなど身近な交流を図っている。コロナ禍での自粛が続いているが、町内会加入や隣接する保育所からの避難を受け入れ、地域とのつながりが途切れないように関係の継続に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	保育園の避難訓練(駐車場まで)の受け入れを継続して行っている。警報があった時には施設内に保育園の先生・園児の受け入れを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナウイルスの為、書面開催とさせて頂いている。引き続きご家族様には毎月の請求書に意見・要望書の同封しご意見をお聞きしている。また地域包括支援センター、町内会長、民生委員、保育園等にも毎月のお便りと一緒に要望書をお渡しし、ご意見お聞きしたり情報交換を行っている。	書面開催となっているが家族、町内会長、民生委員、地域包括支援センター、訪問看護師など多くの関係者から意見聴取を行っている。コロナ禍での面会に対する要望に対し、協議を行い徐々に面会制限を緩和し窓越しでの面会を行うようにするなどサービスの向上に反映している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議開催時(書面開催時含む)は介護保険課へ開催のお知らせをしている。また開催後は報告書を介護保険課へ提出している。介護保険課からのメールは都度配信されており、市の主催する研修などにも参加している。	運営推進会議に地域包括支援センターが参加し意見交換を行っている。認知症カフェやいきいき百歳体操の開催など依頼がある。又、介護保険や成年後見制度、生活保護など制度に関する疑問などを積極的に行政に確認することで関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	「身体拘束等適正化の為の指針」に沿って全体会議やフロア会議職員と身体拘束の有無や対策について意識向上を図っている運営推進会議を同上適正化委員会と位置づけて身体拘束の有無を報告している。玄関は犯罪防止の為に常時施錠をさせて頂いているが、利用者様の過ごされる場所は施錠はしていない。	半年ごとの施設会議で身体拘束に関する研修会を開催している。又、毎月のフロア会議では身体拘束の有無や対策を協議することで職員の意識向上を図っている。運営推進会議で身体拘束等適正化委員会を設け、報告や意見交換の場としている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	更衣、入浴、オムツ交換時等に身体にアザなどが無いか観察し職員全員で情報を共有している。運営推進会議にて身体拘束と併せて虐待防止の有無についても報告している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部評価や地域の方々など第三者からの視点でホームのチェックをして頂いたり、家族様、利用者様などの話を聞き職員間で情報共有している。今年度は1Fご利用者が成年後見人を利用される案件があり、各関係者に書類作成等を依頼・相談し成年後見制度について更に詳しく学ぶ事が出来た。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所前の面談にて契約・重要事項説明書・看取りの指針などを説明しご家族様に理解・納得をして頂いて上で契約をしている。入所後も本人様やご家族様のお話を伺い不安を取り除くように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご面会、メール・お電話のご連絡時等に要望をお聞きしている。また毎月の請求書にも意見・要望書を同封して意見をお聞きし運営に反映させる為、職員間で共有をしている。	面会時やメール、電話連絡のほか、毎月、意見・要望書を送り家族の意見聴取を行っている。利用者からは日々の会話の中から「紅葉狩りに行きたい」「カップラーメンを食べてみたい」などの要望を聞き取り、行事を行うなど、生活を豊かにする取り組みを実践している。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は代表者と毎日メールにて報告し指示を受けている。朝・夕の申し送りで意見を聞く事はもちろん、個人面談や日々の業務の中でも意見を聞き、代表者にも報告し必要備品の即座の購入、業務の流れの変更など柔軟に対応している。	職員から日々の申し送りやフロア会議に加えて半年に1回の職員面談にて意見を聞く機会を設けている。管理者は定期的に代表者へ報告、連絡、相談を行うことで精米器の買い替えなど業務に必要な物品購入や休憩時間の見直しなど働きやすい職場づくりを実践している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は毎月シフト確認し現場の意見も反映しながら無理のないよう調整している。今年度は「子の看護休暇」を取得した職員もおり、家庭の事情などを考慮しながら働きやすい職場環境作りに努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	代表者は積極的に外部研修の案内をし参加を促している。今年度は県中央会主催の生産性向上研修に管理者が参加し、その研修で学んだ手法など全職員と共に実践し、職員同士の関係性改善、一部業務の効率化に繋げる事が出来た。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	代表者からの案内で県中央会主催の生産性向上研修に管理者が参加し、同業の参加者との交流をさせて頂いた。またなでしこ富士見町・五日市の事業所とも電話・メール等で連絡を取り、各事業所での日々の活動の情報交換をしサービスの質の向上に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前の事前面談では本人様の生活の様子やADLを確認している。入所後は環境の変化で不穏状態になりやすいが、様子観察を行い本人様の要望を聞いたり、相談が出来やすい声掛けに努め安心を感じて頂くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居希望・入居時の段階でご希望などを伺いケアプランに反映させるとともに提供する必要なサービスを説明し検討をして頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人様・ご家族様の意見をお聞きし管理者・ケアマネージャー・介護職員全員にて必要なサービスとは何かを検討し、安心して過ごせるように本人様・ご家族様にも必要なサービスがあればご案内をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人様の時間を大切にして頂きつつ、その日の状況に応じてレクや雑談など、他の利用者様も交えて一緒に行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様に変化などあれば、都度ご家族様にご連絡し相談にのって頂きながら、協力して本人様を支えていくように心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍の為、面会は事前連絡頂きドア越しに行っている。お手紙等の代筆や代読も行っている。看取り等の特別な事情がある方にはご家族様とご相談し、居室での面会や外出もして頂いている。	利用開始時に生活歴や馴染みの人間関係について聞き取り、生活の背景を把握している。コロナ禍で面会制限がある中でも衣類の持参や必要物品の持参を家族などに依頼し関係の維持が図られるように取り組んでいる。又、夫婦で利用を希望する利用者に対し利用調整を行った実績もある。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士の相性や関係性を踏まえ、時には職員が間に入り橋渡し役をし皆様が不快なく穏やかに過ごせるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了後もご相談があれば支援を行っている。スーパーや受診先の病院で出会う事もあり、その際に必要であれば相談等を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様本人のお話、ご家族様の意向を伺い検討している。困難な内容でも本当に実現できないか繰り返し検討している。	利用開始時に性格やこれまでの生活を確認し、意思決定が難しい場合でも本人の望む生活を模索しケアに努めている。日常の会話から本人の思いや意向を確認し家族との協議や職員間での話し合いを行い「ビールを飲みたい」という利用者の思いをノンアルコールのビールの提供という形で実現した。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様・本人様と関係を構築しながら日々の雑談や行動の観察の中でこれまでの生活歴や趣味・趣向・特技など情報収集し本人様の暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の様子や心身の状態(血圧・体温等)を記録し状態や見た目に変化があれば申し送り等で共有し必要であれば訪問看護師・かかりつけ医に相談している。またいつ何が起こってどう対応したかを記録媒体に記し職員全員が確認できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様・ご家族様の意向に添って介護計画を作成している。面会時等でもご家族様に意見を聞いたり、かかりつけ医・訪問看護師・職員の意見も参考にし複数の目で見えた視点での介護計画作成に反映させている。</p>	<p>利用者ごとに担当者がモニタリング、アセスメントを実施し、計画作成責任者と情報共有を行いながら介護計画を作成している。医師、訪問看護からの医療的な目線での気づきや意見を取り入れ、多角的な視点でケアプランを作成し個別性の高いケアを実践している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケア記録のデジタル化により職員同士での事例共有がしやすくなり、お互いの意見も言いやすくなった。家族様に相談が必要な部分は連絡・相談し介護計画の見直しを図っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>グループホームだから決まったサービスしか提供できないではなく、本人様の意向や心身の状態、ご家族様の意向や想いなどを都度お聞きし、個々に合わせた食事形態の変更、入浴支援方法の検討、訪問リハビリの紹介や施設かかりつけ医以外への専門科への受診など出来る限りの柔軟な支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>散歩や通院時に保育園児や先生、ご近所の方に挨拶や声を掛けられたりしている。ご近所の方に年に数回花を頂いたり、保育園が焼いた焼き芋を園児が持って来て頂いたりとコロナ禍でも出来る限りの対面での交流を継続している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>内科・歯科・眼科・神経内科については当施設でもいることをお伝えし、受診して頂いている。必要があれば以前からのかかりつけ医への受診もして頂き、本人様やご家族様の希望に添った医療を受けられるよう支援している。</p>	<p>利用開始時に医療提供体制について説明し本人、家族の意向を確認している。以前からのかかりつけ医の受診継続も可能であり、その際は管理者が緊急時の対応などを確認している。又、かかりつけ薬局を通じて医師への内服相談も可能であり、医療職との連携を密に行いながら適切な医療提供に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者様の健康管理について週2回の訪問看護で看護師と情報共有し連携を図りながら状況に応じて看護師に相談・指示を仰ぎ対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には入院先の担当者に情報提供を行い、退院については入院先の担当者・ご家族様と情報交換し、スムーズな退院に向けて連携に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	「重度化された場合の対応に関わる指針」緊急時の対応について入所前に説明をさせて頂いている。看取り期に入った際には改めてかかりつけ医・看護師の指示を受け看取りについて説明し同意書を頂いている。ご家族様にご本人様の状況をこまめにお伝えし、本人様の状況に合わせたケアをかかりつけ医、看護師と相談・共有し看取り支援を行っている。	利用開始時に重度化、看取りの指針を説明し看取り期になるとかかりつけ医、看護師の指示をふまえ、事業所で可能な対応を説明し家族へ意向の確認を行っている。看取りが始まる際はカンファレンスを行い、毎月のフロア会議で情報共有を行いながらケアを行い、看取り後にもカンファレンスを開催し更なるケアの向上に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	フロア会議や申し送りで緊急時の対応や状況を共有している。発生時の状況を管理者と複数の職員で検証し最善の対応が出来るように話し合いをしている。事故報告も記入し職員全員が見て事例共有ができるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練を行っている。また代表者が作成したBCPに則り、必要時には都度BCPを変更している。災害時には地域の方へ見守りもお願いをしたり、大雨では隣接の保育園の園児の一時避難場所として協力している。	消防訓練を年2回、日中と夜間を想定し実施している。3日分の備蓄食料の確保や発災時の垂直避難、避難所への避難方法を職員間で共有している。又、隣接の保育園の一時避難場所としての提供や町内会総会で避難所としての受け入れについて情報提供を行い、地域との協力体制作りを行っている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入浴や排泄、居室で過ごされるお時間などプライバシーに配慮し利用者様それぞれに合った声掛けを行っている。どういった声掛けや対応で利用者様がどう反応したかなどを記録につけ職員間で情報共有し、声のトーン、言葉遣い、職員の仕草・表情などに注意し尊厳を傷つけない様な対応を心掛けている。	利用者の生活リズムを尊重し居室で過ごされるプライベートな時間も大切にしている。利用者の反応や様子を観察してどのような声かけが良かったのかを具体的に記録し共有することで態度や表情、声のトーンなど職員全員で統一した声掛けができるように取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	言葉遣い・声掛けの仕方に配慮し物事・事柄について自己決定して頂くように促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の体調や気分を考慮し、生活リズムを崩さず穏やかに過ごして頂けるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日の更衣時に着る服を相談し、本人様の好きな服や季節に合わせた服を着れるように支援している。また日々の洗顔やひげそり、2ヶ月に1度の訪問美容師に来て頂き身だしなみやおしゃれを楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	月ごとに献立表を掲示板に貼り、いつでも見れるようにしている。行事食の際の食材のカットや盛り付けもして頂いたり、食後の食器拭きなど一緒にして頂いている。誕生日の方には好物の物をお出しできるようにリクエストをお聞きしている。	日々の会話から利用者の好みを把握し誕生日や行事の際にリクエストに応じて提供している。毎食事業所内で調理を行い品数や彩りを良くし視覚からも食事を楽しむ工夫がある。又、利用者の食事姿勢に合わせて高さの合うテーブル使うなど環境を整えることで自己摂取を促し、自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	利用者様の水分と食事は毎食記録して いる。栄養バランスや塩分に配慮しカロ リー計算した献立を作成し調理してい る。食事形態も個々の利用者様に合わ せた物に変更し、水分量は1日1000mlを 目安に飲みたい物の要望を聞きながらお 出ししている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、見守り・介助にて口腔ケアを 行っている。月に1回、歯科医の往診が あり口腔衛生はもちろん義歯の調整・食 事に関する事等を相談し、個々に合った ケアに努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を作成し排泄データを基に排泄時 間や排泄パターンを予測し個々に合った トイレ誘導や介助を行い、トイレでの自 力排泄・支援につなげている。	排泄表のデータをタブレットで確認、共 有し個々の排泄パターンを把握し個々に 合わせたトイレ誘導や介助を行いトイレ での自力排泄に取り組むことで自立支援 に繋げている。利用開始の際、おむつに よる排泄を行っていたが適切なケアが行 われることで日中のトイレでの排泄につ ながった例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄表を作成し排便の日数やパターンを 記録し水分摂取の声掛けや薬が必要であ ればかかりつけ医・看護師と相談し排便 コントロールをしている。自家製ヨーグ ルトに加え、柑橘農家から定期的に購入 している柑橘類を利用者様に便秘予防の 為に提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	週に2回の入浴を行っている。その日の 体調やバイタルなどを参考にして脱衣所 の温度管理、湯温や入浴時間に配慮して 対応している。拒否がある時は無理して 入浴せず別の日に入って頂けるよう支援 している。	週2回の入浴を基本に利用者の気分や健 康状態に配慮して柔軟に対応しており、 入浴が難しい時でも足浴や清拭での対応 も行い、清潔保持に務めている。夏場 にはシャワー浴で入浴回数を増やすなど 季節に合わせた対応も行っている。浴槽に みかんの皮を利用して香りを楽しむなど 季節を感じる工夫も取り入れている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	その日の利用者様の状況を見な がら、日中はリビングや居室で休 んで頂けるようにしている。夜間 は定期巡回にて眠られているか 確認し昼夜逆転の方には、翌日 の状態を確認し離床を促しながら 、睡眠のリズムを整える様に支 援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている。	日々の観察にて変化あればかか りつけ 医・看護師・薬局と相談 をし指示を仰いでいる。薬の変 更あれば朝夕の申し送りやノート 、記録媒体で共有し誰のいつの 薬が変更になったかなどの把握・ 確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している。	家事の手伝いをして頂いたり、懐 かしいドラマ、映画鑑賞など状 況を見て楽しんで頂けるように している。またそれぞれの趣味 (編み物、塗り絵、読書など)が 出来るように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。	屋上・玄関先での外気浴や近所 の公園へのお散歩など天候を見 ながら行っている。季節の移り 変わりの時期には施設車でドラ イブしたりと外出支援を行って いる。	コロナ禍で積極的な外出や地域 行事の中止が続いたが、散歩や 屋上での外気浴の機会を増やし 、町内会行事の神輿の際には窓 越しでの見学をするなど、地域 住人との協力を得ながら可能な 形で外出支援を提供している。又 、利用者の要望を聞き取り花見 や紅葉狩りドライブに利用者全 員が参加するように取り組んで いる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援し ている。	入所時に金銭管理規定について ご説明を家族様も含めてさせて 頂いている。金庫での預かりと 帳簿をつけ、利用者様の必要な 物をご家族様に確認させて頂き ながら購入をしている。		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話はいつでも対応できるよう事務所、各階のリビングに設置している。外部からの電話の取次ぎ、希望があれば電話をかけるなどの支援を行っている。また利用者様にお手紙が来れば都度お渡しし、お手紙を出す時は散歩時に出して頂いたり、職員がポストに投函している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に見合った装飾を施し、プランターで植物を育て鑑賞できるようにしている。利用者様が快適に過ごせるように室温調整を適宜行い、感染症予防対策としてサーキュレーター、加湿器、空気清浄機を設置し換気・消毒も定期的に行っている。	庭やプランターで植物を育て鑑賞することで季節を感じられるよう取り組んでいる。リビングは開放的で日差しや空調を調整し快適な空間作りを行っている。又、チューブを使用し昭和歌謡曲や時代劇を見るなど、利用者それぞれが自由に楽しむことができるよう提供に努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	利用者様の個々の動線や相性を考えた席にさせて頂いている。リビングにソファを置き、一人でくつろいだり気の合う利用者様同士で団らんでできる場所を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	親しみやすいネームプレートを付け、本人様の使い慣れた物や家具を持ち込んで頂き落ち着いて過ごせる場所作りに努めている。利用者様の状態に合わせ、必要であれば職員が整理整頓を行い居心地の良い環境づくりを心掛けている。	利用開始時に家族から自宅環境の聞き取りを行い、家具の配置やこだわりを確認し環境づくりを行っている。併せて使い慣れた馴染みの家具を持ち込むことで利用後も住み慣れた環境での生活が送られるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各所に手すりを設置し車いすにも対応できるトイレも作っている。利用者様の身体機能に合わせ安全で自立した生活が送れるような設備や工夫がある。		

V アウトカム項目(1F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝申し送りを行い理念を唱和し職員全員が周知し日々の業務の中で理念に添う様努めている。半年に1度面談の機会を設け、また日々の業務の中での相談時等、理念を基にした介護・介助のやり方を確認しながら共有・実践をしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナウイルスの影響により保育園、ボランティアとの交流など再開はしていないが月に1回の介護予防運動など一部出来るところから、再開をしている。傾聴ボランティア、保育園の慰問もコロナ禍が落ち着き次第再開をお願いしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	保育園の避難訓練(駐車場まで)の受け入れを継続して行っている。警報があった時には施設内に保育園の先生・園児の受け入れを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナウイルスの為、書面開催とさせて頂いている。引き続きご家族様には毎月の請求書に意見・要望書の同封しご意見をお聞きしている。また地域包括支援センター、町内会長、民生委員、保育園等にも毎月のお便りと一緒に要望書をお渡しし、ご意見お聞きしたり情報交換を行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議開催時(書面開催時含む)は介護保険課へ開催のお知らせをしている。また開催後は報告書を介護保険課へ提出している。介護保険課からのメールは都度配信されており、市の主催する研修などにも参加している。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束等適正化の為の指針」に沿って全体会議やフロア会議職員と身体拘束の有無や対策について意識向上を図っている運営推進会議を同上適正化委員会と位置づけて身体拘束の有無を報告している。玄関は犯罪防止の為に常時施錠をさせて頂いているが、利用者様の過ごされる場所は施錠はしていない。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>更衣、入浴、オムツ交換時等に身体にアザなどが無いか観察し職員全員で情報を共有している。運営推進会議にて身体拘束と併せて虐待防止の有無についても報告している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。</p>	<p>外部評価や地域の方々など第三者からの視点でホームのチェックをして頂いたり、家族様、利用者様などの話を聞き職員間で譲歩共有している。今年度は1Fご利用者が成年後見人を利用される案件があり、各関係者に書類作成等を依頼・相談し成年後見制度について更に詳しく学ぶ事が出来た。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所前の面談にて契約・重要事項説明書・看取りの指針などを説明しご家族様に理解・納得をして頂いて上で契約をしている。入所後も本人様やご家族様のお話を伺い不安を取り除くように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご面会、メール・お電話のご連絡時等に要望をお聞きしている。また毎月の請求書にも意見・要望書を同封して意見をお聞きし運営に反映させる為、職員間で共有をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は代表者と毎日メールにて報告し指示を受けている。朝・夕の申し送りや意見を聞く事はもちろん、個人面談や日々の業務の中でも意見を聞き、代表者にも報告し必要備品の即座の購入、業務の流れの変更など柔軟に対応している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は毎月シフト確認し現場の意見も反映しながら無理のないよう調整している。今年度は「子の看護休暇」を取得した職員もおり、家庭の事情などを考慮しながら働きやすい職場環境作りに努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	代表者は積極的に外部研修の案内をし参加を促している。今年度は県中央会主催の生産性向上研修に管理者が参加し、その研修で学んだ手法など全職員と共に実践し、職員同士の関係性改善、一部業務の効率化に繋げる事が出来た。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	代表者からの案内で県中央会主催の生産性向上研修に管理者が参加し、同業の参加者との交流をさせて頂いた。またなでしこ富士見町・五日市の事業所とも電話・メール等で連絡を取り、各事業所での日々の活動の情報交換をしサービスの質の向上に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前の事前面談では本人様の生活の様子やADLを確認している。入所後は環境の変化で不穏状態になりやすいが、様子観察を行い本人様の要望を聞いたり、相談が出来やすい声掛けに努め安心を感じて頂くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居希望・入居時の段階でご希望などを伺いケアプランに反映させるとともに提供する必要なサービスを説明し検討をして頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人様・ご家族様の意見をお聞きし管理者・ケアマネージャー・介護職員全員にて必要なサービスとは何かを検討し、安心して過ごせるように本人様・ご家族様にも必要なサービスがあればご案内をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人様の時間を大切にして頂きつつ、その日の状況に応じてレクや雑談など、他の利用者様も交えて一緒に行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様に変化などあれば、都度ご家族様にご連絡し相談にのって頂きながら、協力して本人様を支えていくように心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場所との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍の為、面会は事前連絡頂きドア越しにて行っている。ドア越しが難しい方は駐車場と2F居室窓よりご家族様とご面会できるよう支援している。お手紙等の代筆や代読も行っている。看取り等の特別な事情がある方にはご家族様とご相談し、居室での面会や外出もして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士の相性や関係性を踏まえ、時には職員が間に入り橋渡し役をし皆様が不快なく穏やかに過ごせるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了後もご相談があれば支援を行っている。スーパーや受診先の病院で出会う事もあり、その際に必要であれば相談等を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様本人のお話、ご家族様の意向を伺い検討している。困難な内容でも本当に実現できないか繰り返し検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様・本人様と関係を構築しながら日々の雑談や行動の観察の中でこれまでの生活歴や趣味・趣向・特技など情報収集し本人様の暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の様子や心身の状態(血圧・体温等)を記録し状態や見た目に変化があれば申し送り等で共有し必要であれば訪問看護師・かかりつけ医に相談している。またいつ何が起こってどう対応したかを記録媒体に記し職員全員が確認できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人様・ご家族様の意向に添って介護計画を作成している。面会時等でもご家族様に意見を聞いたり、かかりつけ医・訪問看護師・職員の意見も参考にし複数の目で見えた視点での介護計画作成に反映させている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケア記録のデジタル化により職員同士での事例共有がしやすくなり、お互いの意見も言いやすくなった。家族様に相談が必要な部分は連絡・相談し介護計画の見直しを図っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	グループホームだから決まったサービスしか提供できないではなく、本人様の意向や心身の状態、ご家族様の意向や想いなどを都度お聞きし、個々に合わせた食事形態の変更、入浴支援方法の検討、訪問リハビリの紹介や施設かかりつけ医以外への専門科への受診など出来る限りの柔軟な支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	散歩や通院時に保育園児や先生、ご近所の方に挨拶や声を掛けられたりしている。ご近所の方に年に数回花を頂いたり、保育園が焼いた焼き芋を園児が持って来て頂いたりとコロナ禍でも出来る限りの対面での交流を継続している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	内科・歯科・眼科・神経内科については当施設でもいることをお伝えし、受診して頂いている。必要があれば以前からのかかりつけ医への受診もして頂き、本人様やご家族様の希望に添った医療を受けられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者様の健康管理について週2回の訪問看護で看護師と情報共有し連携を図りながら状況に応じて看護師に相談・指示を仰ぎ対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には入院先の担当者に情報提供を行い、退院については入院先の担当者・ご家族様と情報交換し、スムーズな退院に向けて連携に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	「重度化された場合の対応に関わる指針」緊急時の対応について入所前に説明をさせて頂いている。看取り期に入った際には改めてかかりつけ医・看護師の指示を受け看取りについて説明し同意書を頂いている。ご家族様にご本人様の状況をこまめにお伝えし、本人様の状況に合わせたケアをかかりつけ医、看護師と相談・共有し看取り支援を行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	フロア会議や申し送りで緊急時の対応や状況を共有している。発生時の状況を管理者と複数の職員で検証し最善の対応が出来るように話し合いをしている。事故報告も記入し職員全員が見て事例共有ができるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練を行っている。また代表者が作成したBCPに則り、必要時には都度BCPを変更している。災害時には地域の方へ見守りもお願いをしたり、大雨では隣接の保育園の園児の一時避難場所として協力している。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入浴や排泄、居室で過ごされるお時間などプライバシーに配慮し利用者様それぞれに合った声掛けを行っている。どういった声掛けや対応で利用者様がどう反応したかなどを記録につけ職員間で情報共有し、声のトーン、言葉遣い、職員の仕草・表情などに注意し尊厳を傷つけない様な対応を心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	言葉遣い・声掛けの仕方に配慮し物事・事柄について自己決定して頂くように促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の体調や気分を考慮し、生活リズムを崩さず穏やかに過ごして頂けるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日の更衣時に着る服を相談し、本人様の好きな服や季節に合わせた服を着れるように支援している。また日々の洗顔やひげそり、2ヶ月に1度の訪問美容師に来て頂き身だしなみやおしゃれを楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	月ごとに献立表を掲示板に貼り、いつでも見れるようにしている。行事食の際の食材のカットや盛り付けもして頂いたり、食後の食器拭きなど一緒に頂いている。誕生日の方には好物の物をお出しできるようにリクエストをお聞きしている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一 日を通じて確保できるよう，一人ひと りの状態や力，習慣に応じた支援をし ている。</p>	<p>利用者様の水分と食事は毎食記録して いる。栄養バランスや塩分に配慮しカロ リー計算した献立を作成し調理してい る。食事形態も個々の利用者様に合わ せた物に変更し、水分量は1日1000mlを 目安に飲みたい物の要望を聞きながらお 出ししている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、見守り・介助にて口腔ケアを 行っている。月に1回、歯科医の往診が あり口腔衛生はもちろん義歯の調整・食 事に関する事等を相談し、個々に合った ケアに努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン，習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を作成し排泄データを基に排泄時 間や排泄パターンを予測し個々に合った トイレ誘導や介助を行い、トイレでの自 力排泄・支援につなげている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄表を作成し排便の日数やパターンを 記録し水分摂取の声掛けや薬が必要であ ればかかりつけ医・看護師と相談し排便 コントロールをしている。自家製ヨーグ ルトに加え、柑橘農家から定期的に購入 している柑橘類を利用者様に便秘予防の 為に提供している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。</p>	<p>週に2回の入浴を行っている。その日の 体調やバイタルなどを参考にして脱衣所 の温度管理、湯温や入浴時間に配慮して 対応している。拒否がある時は無理して 入浴せず別の日に入って頂けるよう支援 している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している。	その日の利用者様の状況を見 ながら、日中はリビングや居 室で休んで頂けるようにして いる。夜間は定期巡回にて眠 られているか確認し昼夜逆転 の方には、翌日の状態を確認 し離床を促しながら、睡眠の リズムを整える様に支援して いる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量に ついて理解しており、服薬の 支援と症状の変化の確認に 努めている。	日々の観察にて変化あればか かりつけ医・看護師・薬局と 相談をし指示を仰いでいる。 薬の変更あれば朝夕の申し送 りやノート、記録媒体で共有 し誰のいつの薬が変更になっ たかなどの把握・確認に努め ている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとり の生活歴や力を活かした役割 、嗜好品、楽しみごと、気分 転換等の支援をしている。	利用者様同士で楽しめる花札 やトランプ、お一人で楽しま れる文字並べゲームなど、そ の方その方に合わせた過ごし 方を支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また 、普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し 、家族や地域の人々と協力を しながら出かけられるように 支援している。	屋上・玄関先での外気浴や近 所の公園へのお散歩など天候 を見ながら行っている。季節 の移り変わりの時期には施設 車でドライブしたりと外出支 援を行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて 、お金を所持したり使えるよ うに支援している。	入所時に金銭管理規定について ご説明を家族様も含めてさせ て頂いている。金庫での預かり と帳簿をつけ、利用者様の必 要な物をご家族様に確認させ て頂きながら購入をしている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話はいつでも対応できるよう事務所、各階のリビングに設置している。外部からの電話の取次ぎ、希望があれば電話をかけるなどの支援を行っている。また利用者様にお手紙が来れば都度お渡しし、お手紙を出す時は散歩時に出して頂いたり、職員がポストに投函している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に見合った装飾を施し、プランターで植物を育て鑑賞できるようにしている。利用者様が快適に過ごせるように室温調整を適宜行い、感染症予防対策としてサーキュレーター、加湿器、空気清浄機を設置し換気・消毒も定期的に行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	利用者様の個々の動線や相性を考えた席にさせて頂いている。リビングにソファを置き、一人でくつろいだり気の合う利用者様同士で団らんでできる場所を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	親しみやすいネームプレートを付け、本人様の使い慣れた物や家具を持ち込んで頂き落ち着いて過ごせる場所作りに努めている。利用者様の状態に合わせ、必要であれば職員が整理整頓を行い居心地のいい環境づくりを心掛けている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各所に手すりを設置し車いすにも対応できるトイレも作っている。利用者様の身体機能に合わせ安全で自立した生活が送れるような設備や工夫がある。		

V アウトカム項目(2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームなでしこ温品

作成日 令和5年5月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員個人による目標設定が出来ていない。	職員個人での目標設定を行う。	半年に一度の職員面談にて個々の職員に合わせた目標設定を行う。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。